

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月12日			
平成15年度	事業コード	12320	電話	042-769-9230
担当部課名	保健福祉部	地域医療	課	地域医療 係
事務事業名	休日夜間急患調剤事業			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第3節	市民医療の充実	63以前年度
施策名	第2施策	救急医療体制の充実	

## 2 実施根拠及び関連法令等

休日夜間急患調剤薬局運営費補助金交付要綱
----------------------

## 3 事務の区分

自治事務

## 4 経費の区分

その他の経費

## 5 事務事業の分類

市単独事業

## 6 受益者負担

なし

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
休日及び夜間における急病患者(休日歯科患者を含む)に対する調剤投薬の確保を図るため、相模原メディカル調剤薬局・相模原南メディカル調剤薬局を運営する事業に対し、助成している。	市民全般
	対象数 616,439人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
休日(日曜日・祝祭日・年末年始)及び毎夜間における急患調剤薬局の確保を行った。 ・相模原メディカル調剤薬局 処方箋枚数 24,130枚 診療日数 休日72日 診療時間 9:00～17:00 夜間365日 診療時間20(19):00～23:00(休日は17:00～) ・相模原南メディカル調剤薬局 処方箋枚数 12,479枚 診療日数 休日72日 診療時間 9:00～17:00 夜間365日 診療時間20(19):00～23:00(休日は17:00～)	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
	処方箋枚数(枚)	処方箋枚数合計	処方箋枚数により、成果指標とする	12	13	14	15	16
				27,666	31,934	36,609		
活動指標	開設率(%)	開設日/開設予定日×100	開設率により事業の達成状況をみる	100	100	100	100	100

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費					
決算(予算)額	77,368	79,603	81,000	89,287	89,287
人員・時間数	0.2人/年	0.2人/年	0.2人/年	0.2人/年	0.2人/年
人件費	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
その他経費	0	0	0	0	0
合計	78,968	81,203	82,600	90,887	90,887
特定財源	0	0	0	0	0
対象数	607,293	612,605	616,439		
対象の単位あたり経費	0.1	0.1	0.1	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C：達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	休日・夜間において、両メディカルセンターへ受診した患者に対する調剤投薬事業は、急病患者には必須なものであり、両メディカル調剤薬局事業は十分達成できていると考えている。
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B：一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある
		説明	応急的な調剤投薬事業ではあるが、適切な薬を調合できるなど必要性は十分あると考えている。
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B：一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C：有効ではない		
		説明	急病事業全般を実施していく上で、休日・夜間の初期診療と連動しているため、非常に有効的な事業である。
(4)効率性 評価 B ▼	A：優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	事業の性格上費用対効果をはかることは難しいが、効率性は十分あると考えている。
(5)公平性 評価 A ▼	A：公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C：公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	市民全般に関係している事業のため、公平性は十分保たれている。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明： 今後とも急病患者は増加すると予想されるため、更なる向上の余地はありと考えている。	手段	効率的な事業を実施していくため、今後とも医療関係団体と調整を図っていく必要があると考えている。
		削減額	千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較	休日・夜間の急病事業と調剤投薬事業は連携しながら実施している。
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明	
<input type="checkbox"/>	見直し	調剤投薬事業は、休日・夜間において救急患者に対する医療の確保として今後とも必要であり、更なる充実を図っていく必要がある。	
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済		

12 二次評価コメント

積算単価の見直しを行っていくこと
------------------